

平成 30 年度日本魚病学会春季大会のご案内
会場ならびに日程

大会会場

東京海洋大学品川キャンパス 白鷹館 1 階

〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7

(<https://www.kaiyodai.ac.jp/overview/announcement/map/shinagawa.html>)

大会日程

平成 30 年 3 月 3 日 (土) ~ 4 日 (日)

月 日	時 間	行 事	場 所 (白鷹館 1 階)
3 月 3 日 (土)	8 : 30 ~	受付	ホール
	9 : 30 ~ 12 : 30	口頭発表	講義室
	12 : 30 ~ 13 : 30	平成 30 年度第 1 回幹事会	多目的スペース (1)
	14 : 00 ~ 15 : 30	公開特別セミナー	講義室
	15 : 30 ~ 17 : 00	ポスター発表	ホール
	17 : 00 ~ 18 : 00	平成 30 年度第 1 回評議員会	多目的スペース (1)
	18 : 00 ~ 19 : 00	平成 30 年度第 1 回編集委員会	多目的スペース (1)
3 月 4 日 (日)	8 : 30 ~	受付	ホール
	9 : 00 ~ 12 : 00	口頭発表	講義室
	13 : 30 ~ 14 : 00	平成 30 年度日本魚病学会総会	講義室
	14 : 00 ~ 15 : 30	平成 29 年度日本魚病学会受賞者講演	講義室

会場への交通案内

東京海洋大学品川キャンパスホームページの交通アクセス

(<https://www.kaiyodai.ac.jp/overview/announcement/access/shinagawa.html>) をご覧ください。

平成 29 年度日本魚病学会受賞者講演

3 月 4 日（日）14：00～15：30

（白鷹館 1 階講義室）

日本魚病学会賞

良永知義氏（東京大学大学院農学生命科学研究科）

「海産魚介類の寄生虫病に関する研究」

日本魚病学会奨励賞

杉原志貴氏（長崎県対馬水産業普及指導センター）

「養殖クロマグロの住血吸虫症対策に関する生態学的研究」

引間順一氏（宮崎大学農学部）

「魚類における自然免疫機構関連遺伝子に関する研究」

公開特別セミナー

「名古屋議定書の学術分野での日本国内実施の状況と課題」

3 月 3 日（土）14：00～15：30

（白鷹館 1 階講義室）

- 14:00 名古屋議定書の学術分野での実施の現状と課題
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・鈴木睦昭氏（国立遺伝学研究所）
- 14:45 名古屋議定書締約後の水産分野での外国の遺伝資源の利用について
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・伊東裕子氏（東京海洋大学 産学・地域連携推進機構）
- 15:15 総合討論

口頭発表プログラム

3月3日(土) 9:30~12:30

座長：間野伸宏（日大生物資源）

- 9:30 101 昇温処理により作出した KHV 感染耐過魚の抗病性とウイルスキャリアーの可能性
.....○湯浅 啓（水研機構増養研）・
Ayi Santika（インドネシア国スカブミ中央淡水養殖センター）
- 9:45 102 マダイイリドウイルス（RSIV）病発生海域における海水中の RSIV 動態
.....○河東康彦・稲田真理・米加田 徹・
湯浅 啓（水産機構増養殖研）
- 10:00 103 キンギョのヘルペスウイルス病に対する耐病性に関わる遺伝マーカーの開発
.....○中島真結理（海洋大）・田中深貴男・大力圭太郎（埼玉水研）・
内野 翼・白土 誠・加藤豪司・坂本 崇・佐野元彦（海洋大）

座長：泉 庄太郎（東海大）

- 10:15 104 アユのエドワジエラ・イクタルリ感染症における原因菌の臓器別菌数の消長と保菌部位について
.....○中居 裕・辻 寛人（岐阜県水産研究所）
- 10:30 105 *Lactococcus garvieae* II 型の疫学的研究
.....加藤功也・大林和哉・吉田照豊（宮崎大農）・○西木一生・
藤原篤志（水産機構中央水研）
- 10:45 106 ギンザケの細菌性腎臓病対策を目的としたエリスロマイシン投与と吸水前卵消毒の効果
.....○渡邊研一・栗原聖佳・篠宮葵美花・東村賢人（東農大）・
吉原 大・吉原幸雄（吉原水生）・吉水 守（北大院水）
- 11:00 107 *Francisella halioticida* が関与するホタテガイ閉殻筋膿瘍の季節的調査
.....○河原未来（東大院農）・金森 誠（函館水試）・良永知義・
伊藤直樹（東大院農）
- 11:45 108 *Vibrio anguillarum* を原因としたヒラメ稚魚の細菌性脳脊髄炎
.....○桐生郁也・米加田 徹・河東康彦（水産機構増養殖研）・
中嶋一恵（新潟内試）

座長：白樫 正（近大水研）

- 11:30 109 マボヤ被囊軟化症の原因鞭毛虫 *Azumiobodo hoyamushi* の遺伝的構造解析のための遺伝子マーカーの開発
.....[○]柳田哲矢（山大共獣）・山中旅人（山大共獣）・仲山 慶（愛媛大沿岸研セ）・広瀬裕一（琉球大理）・北村真一（愛媛大沿岸研セ）
- 11:45 110 ブリハダムシ *Benedenia seriolae* に対する新規 DNA ワクチンの開発
.....[○]小林圭吾（海洋大）・都留久美子（大分水研）・福田 穰（大分水研）・廣野育生（海洋大）・近藤秀裕（海洋大）
- 12:00 111 海産白点虫 *Cryptocaryon irritans* のトロホントがもつプロテアーゼの特性
.....[○]渡邊勇歩・How Kah Hui（東大院農）・善家孝介（武蔵野大薬）・伊藤直樹・良永知義（東大院農）
- 12:15 112 ニシキゴイの潜水病における鰾の病変と鰾水について
.....[○]安本信哉・清水寛貴・近藤昌和・高橋幸則（水大校）

3月4日（日）9:00~12:00

座長：加藤豪司（海洋大）

- 9:00 201 宮崎県の海産養殖魚から分離された *Vibrio harveyi* の血清学的検討
.....[○]南 隆之（宮崎水試）・西木一生・藤原篤志（水産機構中央水研）・村上彩奈・高野良子（共立製薬）
- 9:15 202 ヒラメにおける PAMPs およびフロイントコンプリートアジュバント接種によるインターフェロン γ 発現応答
.....[○]廣澤英里子（海洋大）・川上秀昌（愛媛水研セ）・廣野育生・近藤秀裕（海洋大）
- 9:30 203 魚類ノカルジア症休眠期に発現する MDP-1 の感染防御抗原としての可能性
.....[○]松本 萌（鹿大連農）・荒木亨介（鹿大水）・柳 宗悦・福留慶（鹿大水技）・山本 淳（鹿大水）

座長：近藤秀裕（海洋大）

- 9:45 204 異なる飼育水温で生産されたアユの細菌性冷水病に対する抵抗性について
.....[○]中島隼人（海洋大）・鈴木究真（群馬水試）・倉田 修・田口仰星（日獣大）・佐野元彦・加藤豪司（海洋大）

10:00 205 高濃度アスコルビン酸投与がヒラメ皮膚組織における生体防御因子の発現に及ぼす影響

.....○森 美里・鷺雄諒太・伊東 輔・難波亜紀・安齋 寛・
間野伸宏（日大生物資源）

座長：佐野元彦（海洋大）

10:15 206 三重県におけるマガキの卵巣肥大症発生状況調査

.....○平山健太・伊藤直樹（東大院農）・栗山 功・（三重水研）・
長谷川夏樹・松本才絵（水産機構増養殖研）・土橋靖史（三重水研）・
日向野純也（水産機構瀬戸内水研）・良永知義（東大院農）

10:30 207 ブリ類のべこ病に対するアルベンダゾールを用いた化学療法

.....○横山 博・立野志生・河野文美（東大院農）・藤田幸辰（林兼産業株）・
小川大樹（（株）アクアファーム）・内藤信二（マルハニチロ（株））

10:45 208 ブリ類のべこ病治療薬の探索

.....○柳 宗悦・福留 慶・和田和彦（鹿児島水技セ）・川上秀昌・
原川翔伍（愛媛水研セ）・白樫 正（近大水研）・佐藤 純・米加田 徹・
山崎雅俊・坂井貴光・伊藤尚史・西岡豊弘・森 広一郎（水産機構増養殖研）

11:15 209 ブリのべこ病に対するフェバンテルの有効な投与方法

.....○原川翔伍・川上秀昌（愛媛水研セ）・柳 宗悦（鹿児島水技セ）・
白樫 正（近大水研）・佐藤 純・森 広一郎（水産機構増養殖研）

11:15 210 水産用経口駆虫剤によるべこ病治療効果とフェバンテルのブリ稚魚に対する毒性

.....○白樫 正・浜野祥吾（近大水研）・原川翔伍・川上秀昌（愛媛水研セ）・
柳 宗悦（鹿児島水技セ）・佐藤 純・三輪 理・
森 広一郎（水産機構増養殖研）

座長：熊谷 明（宮城内水試）

11:00 211 卵洗卵および吸水前卵消毒による *Renibacterium salmoninarum* 卵内感染防除法

.....○小原昌和（全水技協）・倉科光紀・吉水 守（北大水）

11:30 212 *Yersinia ruckeri* の未受精卵への感染に対するヨード剤の消毒効果の検討

.....○山崎雅俊・坂井貴光・伊東尚史・森 広一郎（水産機構増養殖研）

ポスター発表プログラム

3月3日(土) 15:30~17:00

- 301 ヒラメのアクアレオウイルス感染症原因ウイルスの全ゲノム解析
.....[○]河東康彦・米加田 徹・西岡豊弘・坂井貴光・栗田 潤・
森 広一郎 (水産機構増養殖研)
- 302 銅イオン溶出セラミックビーズによるキンギョ受精卵の水カビ病発症抑制効果の確認
.....[○]荒川純平・金田康見・岡村康弘 (愛知水試) ・
梶浦義浩 (株) シナネンゼオミック)
- 303 アミメノコギリガザミ幼生から分離された病原細菌の性状
.....[○]翠川優希・内野 翼 (海洋大) ・
Mohammad Tamrin Bin Mohamad Lal (マレーシア大サバ校) ・
濱崎活幸・加藤豪司・佐野元彦 (海洋大)
- 304 魚類のエピテリオシスチス病の原因菌の分類学的研究
.....[○]稲田真理・湯浅 啓 (水産機構増養殖研)
- 305 *Photobacterium damsela* subsp. *piscicida* ギリシャ分離株ゲノムの特徴および比較ゲノム解析
.....[○]引間順一・輝 祐希・森本和月 (宮崎大農) ・
高野倫一 (水産機構増養殖研) ・竹山春子 (早大先進理工) ・
青木 宙 (早大ナノ理工) ・河野智哉・酒井正博 (宮崎大農)
- 306 これまでに国内で分離された *Yersinia ruckeri* の血清学的性状と遺伝的特徴
.....[○]坂井貴光・山崎雅俊・伊東尚史・森 広一郎 (水産機構増養殖研)
- 307 *Yersinia ruckeri* 国内分離株に対するアユの感受性
.....[○]山崎雅俊・坂井貴光・伊東尚史・森 広一郎 (水産機構増養殖研)
- 308 クルマエビ (*Marsupenaeus japonicus*) の HIF (hypoxia-inducible factor) 経路関連遺伝子群の同定および腸管における局在の証明
.....[○]岡村 洋 (宮崎大農) ・米加田 徹・稲田 真理 (増養殖研) ・
Narantsog Chojookhuu・菱川 善隆 (宮崎大医) ・伊丹 利明 (宮崎大農)
- 309 クルマエビ (*Marspenaeus japonicus*) における細胞周期チェックポイント関連遺伝子群の同定と発現動態
.....土屋晃史・[○]岡村 洋・高橋良枝・伊丹利明 (宮崎大農)

- 310 Molecular characterization, gene expression and antimicrobial activity analysis of Liver Expressed Antimicrobial Peptide-2 (LEAP-2) isolated from rock bream (*Oplegnathus fasciatus*)
[○]Min-Soo Joo · Joseph Jeswin · Ji-Min Jeong · Jin-Sol Bae · Kwang-Min Choi · Dong-Hee Cho · Chan-Il Park (College of Marine Science · Gyeongsang National University)
- 311 Molecular characterization and expression of marbled rockfish *Sebastes marmoratus* CD4 and CD8 β genes
[○]Lee Yih Nin · 倉田 修 · 和田新平 (日獣大)
- 312 河川水生生物における *Flavobacterium psychrophilum* およびウイルスの保有状況
[○]室谷 稔 (北大院水) · 水野信也 · 勝又義友 (道さけます内水試) · 笠井久会 (北大院水)
- 313 採卵用ウナギ親魚からの病原微生物の検出
[○]寺島祥子 · 樋口理人 · 今泉 均 · 高野倫一 · 松山知正 · 松浦雄太 · 稲田真理 · 栗田 潤 · 森 広一郎 (水産機構増養殖研)
- 314 愛媛県におけるマダイの心臓へネガヤ症の疫学調査
[○]水野かおり · 原川翔伍 · 川上秀昌 (愛媛水研セ) · 米加田 徹 (水産機構増養研)
- 315 Silver nanoparticle-coated rubbles exhibit antimicrobial activity against acute hepatopancreatic necrosis disease (AHPND) strain of *Vibrio parahaemolyticus* and White Spot Syndrome Virus
[○]Omar Adrienne Pan Alaman (海洋大) · 近藤秀裕 (海洋大) · 廣野育生 (海洋大)
- 316 ニジマスにおける *Weissella ceti* 感染症
[○]三富杏香 · Truong Dinh Hoai (宮崎大 · 農) · 西木一生 (水産機構中央水研) · 吉田照豊 (宮崎大 · 農)
- 317 ドチザメとホシザメの好中球の形態学的特徴
[○]近藤昌和 · 立石航平 · 平山尋暉 · 安本信哉 · 高橋幸則 (水大校)
- 318 マダイ好中球の成層顆粒の染色性
[○]近藤昌和 · 大村健人 · 恩田伴喜 · 安本信哉 · 高橋幸則 (水大校)
- 319 An enzyme-linked immunosorbent assay (ELISA) for detection of olive flounder antibodies to viral hemorrhagic septicemia virus (VHSV) using two Novirhabdovirus antigens from olive flounder
[○]Wi-Sik Kim · Min-Seok Jang · and Myung-Joo Oh
- 320 A simple and rapid immunochromatographic test strip for detection of viral hemorrhagic septicemia virus (VHSV) of olive flounder
[○]Wi-Sik Kim · Ha-Na Jeong · Myung-Joo Oh · and Choon-sup Kim

- 321** Production of monoclonal antibodies against viruses (VHSV, HIRRV and MABV) from olive flounder
.....[○]Myung-Joo Oh • Choon-sup Kim • and Wi-Sik Kim
- 322** Production of monoclonal antibodies against fish viruses (NNV, SVCV and WSSV)
.....[○]Myung-Joo Oh • Choon-sup Kim • and Wi-Sik Kim